

Sagabi News 63



理事会報告

嵯峨美術大学の入学定員増が 認可されました

嵯峨美術大学は、平成30年度からの収容定員増加に係る学則変更の認可申請を行い、8月29日付で文部科学大臣より認可を受けました。これにより、平成30年度から嵯峨美術大学の入学定員は、以下のとおりとなります。

嵯峨美術大学 芸術学部

	変更前	変更後
造形学科	40名	45名
デザイン学科	80名	90名
合計	120名	135名

大学報告

2017年度9月卒業式報告

9月13日(水)の教授会において、嵯峨美術大学2名、嵯峨美術短期大学1名の卒業を認定いたしました。

9月27日(水)に卒業式を挙行し、担当教員出席のもと森本武学長から学位記が授与されました。

事務局人事報告

■退職

竹谷 佳朗(教務・学生支援グループ)
(2017年9月30日付)

■着任

福田 成文(教務・学生支援グループ)
(2017年10月1日付)

杉本 真(教務・学生支援グループ)
(2017年11月1日付)



「2017年度学友祭」ありがとうございました!

このたびは、お足元の悪いなか、本学学園祭「学友祭」にお越しいただき、誠にありがとうございました。

今年は台風のため、当初予定の10月28日(土)、29日(日)開催が、10月28日(土)のみになってしまいましたが、模擬店、フリーマーケットは例年よりも出店者が多く、学内は盛り上がりを見せていました。また、サガビ展をはじめ、美術大学らしくクオリティーの高い催しも数多くあり、多くの方に足を運んでもらい盛り上げることができました。台風と隣り合わせの実施でしたが、みなさまの「楽しかった」という言葉が実行委員一同の心の支えになりました。大きな混乱もなく無事終えることができたのは、みなさまのおかげです。開催に協力していただいたすべての方に厚くお礼申し上げます。

また、いただきました貴重なご意見を今後の運営の参考とし、来年度学友祭をより一層良いものにするために奮励努力してまいります。

(「学友祭」実行委員会委員長・延原亜沙美)



「学友祭」にて「サガビ展」を行いました。

2017年度学友祭にて、特別展「サガビ展」を行いました。

今年是在学生をはじめ、卒業生や本学に関わりを持つみなさまから広く作品を募集し、計35名の方の作品で展覧会を行いました。例年の在校生のみの展覧会から形を変えて行うこととなりましたが、出展されたみなさまの力作と多くの方にご来場いただいたおかげで、たいへん良い展覧会となりました。特に学生にとっては、卒業生の作品を学内で間近に見る機会や、設営や会期を通して他の領域の学生と交流する機会は非常に貴重で、学園祭という場を借りて本展を行えたことは良い刺激になったと思います。

また、展覧会を行うにあたり、事前の募集・広報活動や展示方法などで事務局をはじめ多くの方からの支援をいただくことができ、大変感謝するとともにあわせて参加していただ

いたすべての方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。(「学友祭」サガビ展担当・柴田暢也)



きめ細かなサポートで就職活動を支援

後期に入り、18年3月に卒業する学生からは、内定式や内定企業の研修に行ってきたという報告が次々と届いています。一方、早いもので19卒学生(大学3年次生/大学院・短大・専攻科1年次生)も、3月1日には就活が本格的にスタートします。そのため、出遅れることのないように本学では直前の2月に多数の企業を学内にお招きし、2日間にわたる大規模な「業界・企業研究会」を開催します。3月に入れば学生にとっては不慣れな環境で説明会や採用試験に臨むことになりますが、その直前にまず学内という“ホーム”の環境で就活の空気を体験しておく、円滑な就活スタートに必須の取り組みとなっています。

すでに、就活準備期間に入っている19卒学生には、年内にやっておくべきこともたくさんあります。

具体的には、美大生の就活に欠かせないポートフォリオの作り方や、第一印象を大きく左右する就活メイクのノウハウ、合同説明会の歩き方・・・そうした「今、すべきこと」に取り組むプログラムを多数用意し、就活準備をサポートしています。特に「キャリアプランニングA」は、「SPI」「エントリーシート」「グループディスカッション」など、就活に必要な知識やスキルを具体的かつ実践的にひと通り学べる構成

となっており、多数の19卒学生がこの科目を履修し、就活への意識を醸成するとともに着実に就活力を高めています。

一方、そうしたプログラムとなるとハードルが高いという学生も参加できるよう、毎週火曜日の夕方には“キャリアカフェ”を実施しています。飲み物を飲みながら、担当教職員とおしゃべりすることで、ホッとやすらぎながら自分のミライについて考えるきっかけをつくる場となっています。実際に就職活動をスタートした後は、履歴書添削、模擬面接など、少人数の大学ならではのきめ細かな個別対応でサポートしていきます。(教務・学生支援グループ)



「首里嵯峨2017秋展」報告

「首里嵯峨 2017 秋 - 沖縄県芸大+嵯峨美大・美術交流『草木染め+何かをまとう』」

2017年10月12日(木)～15日(日)

京都伝統産業ふれあい館イベントルーム

「首里嵯峨」は京都国際映画祭と沖縄国際映画祭のアートプログラムを連携し、京都と沖縄の芸大・美大で学ぶ学生の交流の場です。学生の交流の中から、新しい表現やおもしろい関係性が生まれることを期待しました。

2017年春に開催された「島ぜんぶでおーきな祭 第9回沖縄国際映画祭」のアートプログラムとして、沖縄県立芸術大学と嵯峨美術大学の学生による合同作品展「首里嵯峨2017春」および、両大学の教授によるトークプログラムを実施しました。その際に発案された両大学の学生間交流を実現する形で、「京都国際映画祭2017」では、沖縄県立芸術大学の学生を京都へ招き、嵯峨美術大学の学生との交流を経て作品を作り上げるワークショップを行いました。

今回のワークショップでは伝統的な染織技法である草木染めをピックアップし、草木染めに関心のある学生を集め

ました。全員で草木染め作業を体験したうえで、そこで染められた布に学生それぞれが「何か」を加えて新しいデザイン展開につなげることを目標としました。「首里嵯峨2017秋」展覧会では、暮らしの中に取り入れるための提案や、植物の生命感に反応するものなど7つのデザイン提案が並びました。9月に行われた京都「指月林」での合宿、アーティスト、ミハイル・ギニスさんのレクチャー、講師の菊谷彩さんを交えた共同制作や学内イベントでの発表の様子などをまとめた記録映像(制作・エムララボ)も同時に発表しました。短期間ゆえに密度の濃い、約一か月のアートプログラムは充実したものとなりました。

(嵯峨美術大学・江村耕市教授、上田香准教授)

企画・運営: 仲本 賢、上田 香、江村耕市／**参加学生・沖縄:** 大濱 真子、泉 佳那、小嶺 萌々子、山城 あかね／**参加学生・京都:** 青山 莉奈、城ヶ辻 佑希、池田 彩華、中原 美早子、大平 美奈、北浦 ひかる、芥子 萌樹、近藤 舞、塩谷 祥子、柴田 祈季、曾根 好桜、古橋 愛子、森崎 華林、宮崎 大吾／**撮影編集:** 川端将来、西本至則／**ゲスト:** ミハイル・ギニス、菊谷 彩



「外山重男:ある兵士の日常展」報告

10月1日(日)から10月22日(日)までの期間に、本学附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」において「外山重男:ある兵士の日常展」が開催されました。この展覧会は京都市内の14大学の14のミュージアムの連携組織である「京都・大学ミュージアム連携」の主催、本学の嵯峨芸術センターと立命館大学国際平和ミュージアムの共催で、文化庁からの助成金を得て実施されたものです。会期中には、NHK(京都、大阪、兵庫放送局)や京都新聞でも大きく取り上げられ、513人の来場者を数えました。

外山重男は、1938年～1939年にかけて日中戦争に従軍した人物です。彼は戦地から国内の家族にあてて現地のスケッチを添えた多くのはがきを送り、負傷して帰国した後、それらをもとにペンと水彩で厚紙に描き直したものと一緒に大切に保管していました。外山重男の曾孫にあたる京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業生の石川日向子さんが

この情報を本学に与えてくれたことをきっかけに、本展が実現しました。

会場には70枚の絵はがきと33枚の帰国後の作品に添えて、立命館大学国際平和ミュージアムが所蔵している「武運長久」と書かれた日の丸や日本軍の兵士が用いた雑嚢、水筒、当時の中国の地図などの関連資料が並び、当時の状況をより具体的に知ることができるようになっていました。戦争の只中にありながら、はがきの図柄には悲惨な様子が一枚たりとも描かれていなかったり、なんの変哲もない民家を描いた一枚のはがきに「農家二見ル戦火二追ワル>支那國民ノ上ニ想ヒヲ寄セル時何事力心打ツ」とあったりすることから、家族はもちろん敵国の人々へも細やかな気遣いをする外山の優れた人間性が伝わってきました。日中戦争開始から80年を経たいま、あらためてひとりひとりの人間を強制的に殺戮の道具としてあつかう戦争というものについて考えるよい機会となりました。

(博物館長・芳野明教授)



SCC第11回ワークショップ報告

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)では11月11日(土)、第6演習室にて、嵯峨美術短期大学の卒業生で、現在「株式会社TNCブライダルサービス」代表取締役を務める木村俊昭さんを講師に迎え、「結婚式から見るおもてなしの精神と、京都の根底にある世界に通用するデザイン」と題して、第11回目のワークショップ(トークイベント)を開催いたしました。

木村さんは、1977年3月に本学を卒業後、婚礼衣装(和装)メーカーのデザイン室に入社、1980年には京都で婚礼貸衣装店を開業し、経営・営業・企画を担当されてきました。1998年にTNCブライダルサービスを開業し、2006年には株式会社TNCブライダルサービスの代表取締役に就任されました。現在はウェディングプロデュースだけでなく、コンサルティングや人材育成などの事業も展開されています。今回のワークショップでは、木村さんが携わってきたウェディングプロデュースという視点からみたおもてなしの精神と、京都に残る伝統文化や、神社仏閣を始めとする世界有数の文化財に囲まれた京都という素晴らしい環境について語っていただきました。

講演終了後は、和やかな雰囲気の中で参加者と熱心な質疑応答が行われ、充実したワークショップとなりました。

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)は、卒業生の作家活動・社会的活動の支援、文化事業における大学との事業連携、卒業生相互の交流と親睦を深めることを目的に、2013年11月に発足しました。2014年には卒業生だけでなく、在学生や教職員、退職された教職員など学園関係者すべてが集うことのできるクラブへと会員資格を拡大し、現在630名余りの会員を擁する会に成長してきました。(2017.11)

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)のサイトでは、会員の個展やイベント情報をニュースとして紹介するほか、Webギャラリーとして会員の作品を掲載しています。また、会員から寄せられた個展やイベントなどの情報は、定期的に全会員にメール配信しています。

今後とも大学から会員への情報発信の場として、学園関係者の交流の場として一層の充実を図ってゆく予定です。(学長室)



「嵯峨芸術センター」で 研究・制作シーズを公開

大学の使命は教育・研究・社会貢献です。教育や研究については具体的な姿を容易に思い浮かべることができますが、社会貢献についてはどうでしょうか。医薬系学部の研究が人間の健康に役立つ、理工系学部の研究が地球環境の持続可能性を高めるといったことは想定しやすいでしょう。けれども本学のような美大が果たす社会貢献について列挙するのはかなり難しいと思います。

「大学には知の蓄積がある」とよく言われます。もちろん美大にも美術品の制作、目的に合致したデザイン・ワーク、効果的な展示方法、アート系イベントの企画などに関するいろいろなノウハウ＝知が蓄積されています。これらの蓄積をひろく社会に活用してもらうことが、美大ならではの社会貢献といえます。それは人間の身体や財布に直接的に貢献するものではないかもしれませんが、精神の健康や

心の豊かさにつながるものであるといえます。

実際に本学ではこれまでも多くの社会貢献を果たしてきました。マスコット・キャラクターの制作、建造物彩色など、教員と学生が一体となって地域社会に提供してきたものは枚挙にいとまがありません。『日経グローバル』(2015.12.21)の「大学の地域貢献度調査」において、「学生1,000人当たりの開発した商品・サービス数」では全国6位、国公立も含めた近畿圏の総合ランキングで25位(芸術系大学ではトップ)となったことにも、われわれの取り組みが明確にあらわれています。

本学でこうした社会貢献の窓口となっているのが「嵯峨芸術センター」です。センターのWebサイトでは本学の教員が社会に対して提供できる内容(シーズ)を一覧にした「研究・制作シーズ集」(http://sac.kyoto-saga.ac.jp/?page_id=76)を公開しています。思いもかけない「種」がそこにあるかもしれません。ぜひ一度ご覧ください。

(嵯峨芸術センター長・芳野明教授)



写真は今年の8月に本学附属ギャラリー「アーツスペース嵐」で開催された「Made in SAGABI—嵯峨美で生まれたアレコレ」展の様子。学生・教職員が開発した品々が並びました。

告知

「第46回制作展」告知

美術大学にとっては1年に1度、大学をあげて行う一大イベント、「第46回制作展」を2月8日(木)～12日(月)に開催いたします。昨年度まで、卒業・修了制作展は京都市美術館で、進級制作展は大学キャンパスで開催してきましたが、今年度より全学生の作品を、日ごろ授業や制作活動で使用している講義室や実習室、ギャラリーなどキャンパス全体を展示会場にして開催します。美術館とは違ったダイナミックな展示が学内各所に展開されることと思います。「芸術の力を究める」の教育スローガンのもと、それぞれの専門分野で知識や技術を身につけるべく日々研鑽を積み、感性を磨いてきた学生たちの集大成となる展覧会です。ぜひ足をお運びください。(制作展委員会)

「第46回制作展」

会期：平成30年2月8日(木)～12日(月)

時間：10:00～18:00(入場は17:30まで)

※最終日は10:00～17:00(入場は16:30まで)

会場：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

市バス、京都バス「車折神社前」より徒歩3分

京福嵐山線「車折神社」より徒歩5分

阪急嵐山線「松尾大社」より徒歩20分(スクールバス運行5分)

JR嵯峨野線「嵯峨嵐山」より徒歩15分



本学関係者による展覧会情報

一紅/嵯峨美術短期大学 コミックアート分野 『生れ清まり』

会 期：2月24日(土)～3月7日(水)
会 場：大阪SUNABAギャラリー(大阪市・北区)
U R L: <http://sunabagallery.com>

一紅/嵯峨美術短期大学 コミックアート分野 『地獄極楽絵巻』

会 期：2月26日(月)～3月11日(日)
会 場：箱の中のお店(名古屋・北区)
U R L: <https://hakofu.com/jigokuraku/>

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

「2017年度大学院芸術研究科修了審査展」

会 期：1月15日(月)～24日(水)
時 間：12:00～17:00

「第46回 制作展」

会 期：2月8日(木)～12日(月・祝)
時 間：10:00～17:00

「2017年度嵯峨まなびプログラム・生涯学習講座受講生作品展」

会 期：2月19日(月)～25日(日)
時 間：10:00～17:00

「2017年度嵯峨美選抜展(仮)」

会 期：3月20日(火)～4月8日(日)
時 間：10:00～17:00

※大学授業・行事などにより、展覧会の内容・日時などは変更になる場合があります。

アートプレイス「アートスペース嵐」スケジュール

「2017年度大学院芸術研究科修了審査展」

会 期：1月15日(月)～24日(水)
時 間：12:00～17:00

「第46回 制作展」

会 期：2月8日(木)～12日(月・祝)
時 間：10:00～17:00

「2017年度嵯峨まなびプログラム・生涯学習講座受講生作品展」

会 期：2月19日(月)～25日(日)
時 間：10:00～17:00

「2017年度嵯峨美選抜展(仮)」

会 期：3月20日(火)～4月8日(日)
時 間：10:00～17:00

※大学授業・行事などにより、展覧会の内容・日時などは変更になる場合があります。

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日 時：2月17日(土) 13:00～14:00
テマ：えほんとおそぼ

※有響館1階・附属図書館内にて開催(参加無料)

大学授業・行事などにより開催日時、テマなどを変更する場合があります。
お問合せ先: TEL. 075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、リサイクル品だけでなく、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、美大ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出展いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日 時：3月24日(土) 11:00～16:00
場 所：ギャラリー棟前・芝生エリアなど

※天候や、大学授業・行事などにより開催日を変更・中止にする場合があります。
お問合せ先: TEL. 075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Jan.2018 — Apr.2018

1月	9日(火)	...	年始授業開始
	22日(月)	...	授業予備日
	～ 27日(土)		
	27日(土)	...	学園創立記念日(授業予備日)
	29日(月)	...	平常授業終了
2月	2日(金)	...	一般入試(前期)(大学・短大)
			海外帰国生入試(後期)
			社会人入試(後期)
			外国人留学生入試(後期)
	8日(水)	...	第46回「制作展」(本学)
	～ 12日(月)		※2月11日(日) 制作展見学ツアー
	23日(金)	...	専攻科入試(後期)(短大)
			3年次編入学入試(後期)
			大学院入試(後期)
3月	9日(金)	...	一般入試(後期)(大学・短大)
	10日(土)	...	スカラシップ入試(後期)(大学・短大)
	20日(火)	...	卒業・修了式(本学、講堂)
		...	祝賀パーティー(教育後援会主催)
	25日(日)	...	オープンキャンパス
4月	1日(日)	...	入学前ガイダンス
	2日(月)	...	入学宣誓式
	3日(火)	...	新入生オリエンテーション期間
	～ 6日(金)		
	9日(月)	...	通常授業開始

柑子色
今日の色

柑子色(こうじいろ)とは古くから日本で栽培されていた柑子蜜柑(こうじみかん)の果の色で、現在なじみのある温州蜜柑(うんしゅうみかん)の「蜜柑色」より黄みの強い橙色。古くから衣の色として愛好されており、文学作品にもしばしば書かれています。また、古来より柑子蜜柑の皮を乾燥させ、「陳皮」として七味唐辛子に用いたり、入浴剤として用いたり、と暮らしの中で様々な使われていました。柑子蜜柑は、初冬から花材として花屋にも出回り、正月用としても多く用いられています。そろそろ、お正月の準備が始まります。



学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



2017年4月、京都嵯峨美術大学・京都嵯峨美術大学短期大学より名称変更

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第63号 2017年12月12日発行 編集:嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行:学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

